

平成 28 年 10 月 11 日

各 位

上場会社名 株式会社 郷鉄工所  
 代表者名 代表取締役社長 長瀬 隆雄  
 (コード番号 6397)  
 問合せ先責任者 常務執行役員 若山 浩人  
 (TEL. 052-586-1123)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 8 月 18 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### ●業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,794	△362	△390	△293	△21.96
今回修正予想 (B)	1,789	△500	△533	△460	△29.10
増減額 (B) — (A)	△5	△138	△143	△167	
増減率 (%)	△0.3	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	1,892	△155	△180	△194	△16.09

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,658	△349	△402	△306	△21.00
今回修正予想 (B)	4,653	△487	△545	△473	△29.92
増減額 (B) — (A)	△5	△138	△143	△167	
増減率 (%)	△0.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	3,831	△699	△751	△903	△74.62

平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,767	△390	△293	△21.96
今回修正予想 (B)	1,767	△513	△440	△27.84
増減額 (B)－(A)	－	△123	△147	
増減率 (%)	－	－	－	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	1,892	△155	△180	△16.09

平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,600	△402	△306	△21.00
今回修正予想 (B)	4,600	△525	△453	△28.66
増減額 (B)－(A)	－	△123	△147	
増減率 (%)	－	－	－	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	3,790	△751	△913	△75.44

修正の理由

(1) 第 2 四半期累計期間

◎営業利益の減少の主な要因

- ライニング製品部門のうち、配管事業部の廃止に伴い、在庫を帳簿価格で販売予定しておりましたが、一部不良があったことに伴い約 20 百万円の評価減をしたことにより売上総利益の減少となりました。
- 環境装置部門のうち、a. 太陽光パネルの販売に取組みましたが見積時と発注納品時との価格差異が考慮出来てなかったことによる利益の減少(実際購入価格差異約 22 百万円)及び b. 太陽光発電設備工事の一部案件(静岡県、埼玉県)において、購入部材を中古で購入しそのままの状態で使用する予定でしたが、修繕が必要となったことによる修繕費用の発生・納品までの時間がかさんだことによる部材の保管費用の発生・現場管理の追加費用等の増加(増加費用約 40 百万円)により売上総利益の減少となりました。
- 販売費及び一般管理費において、運転資金の借入にかかる調達の一部を仲介業者に委託しているために借入コストの増加を招き、これに伴い業務委託費が当初見込みより増加(増加費用約 30 百万円)した結果、営業利益が減少となりました。

◎当期純利益の減少の主な要因

配管事業部の廃止に伴い、固定資産の譲渡を予定しておりました一部について、工場財団担保物件の該当有無の判断がつかず譲渡が保留となり特別利益 33 百万円が減少、投資有価証券の売却により特別利益 9 百万円の増加によるものです。

(注) 現在、他社貸付金等について回収可能性が不確実であるとの判断から貸倒引当金の計上を予定しておりますが、金額の精査中であり開示が必要な場合は速やかに開示いたします。

また、現在第 2 四半期会計期間につきまして業績の集計作業中でありますとともに会計監査人の監査前であり、業績予想に変更がありました際には、改めて開示をいたします。

(2) 通期累計期間

- ・第 3 四半期会計期間以降の業績予想につきましては、現時点では前回開示しております内容から大きな変動要因はなく、前回開示した業績予想に今回の第 2 四半期累計期間の業績予想分を加味したものとしております。通期業績予想につきましては、修正が必要となりました際には、改めて開示をまいります。

上記業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以 上